



「学校★ほんお届けサービス」一部の学校で試行中

神栖市立図書館では、学区内に市立図書館のサービスポイントがない、または遠いなどの理由で図書館を利用しにくい児童・生徒に対して、学校と連携して予約した図書を学校で受け取れる「学校★(ほし)ほんお届けサービス」を実施します(当面は、一部の学校(学年・教職員)での試行です)。

学校が図書の受け渡し場所になりますので、サービス提供の対象は児童・生徒と教職員です。市立図書館に所蔵があり、予約可能な図書であれば貸出しできますので、自校の学校図書館にない学習関連の図書も簡単に取り寄せてできます。もちろん娯楽としての読書利用も大歓迎です。お友達が学校図書館で借りている本を同時に読み進めたい…なんて時には、「市立図書館から借りる」という使い方も出来ますよ!



ほし
★ほん専用バッグでお届けします!
返す時もこちらに入れて返却してね。

1回のお届け便で図書が5冊も借りられますし、市立図書館まで足を延ばす必要がなく、週に2回、毎日通う学校で図書の受け渡しができるので、非常に便利です。

1回目の申込みは電話になりますが、2回目以降はインターネットや専用連絡用紙での予約も可能です(詳しくは市立図書館のHPをご覧ください)。

神栖市立図書館では、
今後もサービスの拡充に
努めていきます。

どうぞご期待ください。



図書館 HP
★ほん URL

読書週間イベント『本のお楽しみ袋』

中央図書館では10月27日(火)から11月8日(日)まで、秋の読書週間に合わせて子ども向けのイベント『本のお楽しみ袋』を行います。

期間中は、テーマに合わせて選ばれた3冊の児童書が入ったお楽しみ袋をご用意します。お楽しみ袋は1回の貸出しにつき1袋までになりますので、いろんなテーマの本を読みたい方は、期間中何度でも図書館へ足をお運びください(残念ながらプレゼントではありませんので、本は読み終わったあとに返却をお願いします)。対象は子どもとその保護者で、幼児向け、小学校低学年向け、小学校高学年向けの3種類となっています。

本との思いがけない出合いを期待して、この機会に普段読まないジャンルにもトライしてみたいかがでしよう? いろいろな『本のお楽しみ袋』を手にとってみてくださいね。

各学校の取り組み紹介

第4回

波崎小学校・太田小学校

注意喚起の掲示物もひとひねりで楽しく

～注文の多い図書館～

太田小(左)と波崎小(右)の掲示物



意味あしげにヤマメノコが見つめている...



「with コロナ」で新しい生活様式を唱え始めてはや半年。最近では、3密を避けマスクを着用する習慣もすっかり定着しました。

学校生活でも普段から手洗い消毒に気を付けていると思いますが、堅苦しいルールの掲示ではなく、ひと味違った切り口の掲示で功を奏している学校もあります。

波崎小学校と太田小学校の学校図書館入口には、宮沢賢治の

『注文の多い料理店』ならぬ【注文の多い図書館】の看板が。

子どもたちは興味深げに入口で立ち止まります。物語の内容を知っている高学年の児童は「あっ、これは宮沢賢治の…」と反応し、知らない児童は「その本読んでみたい!」と貸出しにつながるなど、よい効果があらわれているようです。

物語の世界に引き寄せる工夫が図書館ならではのといえますね。みなさんも児童の興味を引く掲示づくりでキラリと光るセンスを発揮してください。

おしらせ

★統計報告★
毎月10日(木)切
(早めに提出願います)

おねがい

★調べ学習セット★
新テーマを追加しました!
・論語・天体・斎藤隆介
・工作・新聞づくり・新美南吉
・季語(短歌・俳句)

★定期巡回★
10月、11～12月、
1～2月で計3回訪問予定
(各校の訪問日は
巡回スケジュール参照)

★配本の予定★

第4回目
波崎: 10/28(水)～12/16(水)
神栖: 10/29(木)～12/17(木)

★配本の予定★

第5回目
波崎: 1/13(水)～2/24(水)
神栖: 1/14(木)～2/25(木)

「こんなことが知りたい」「こんな情報を載せて」など、支援センターだよりに関するご意見・ご要望を、ぜひ職員にお聞かせください。今後の紙面づくりに反映していきます。

